

# 市民の平和願う声届かず

「集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を求める意見書提出を求める請願委員会とは一転、本会議で不採択

多くの市民の声に押されて、9月17日の総務常任委員会では採択された「立憲主義を堅持する立場から集団的自衛権の行使等を容認する閣議決定の撤回を求める意見書の採択を求める請願」ですが、議会最終日の29日、本会議で反対多数で不採択となりました。

賛成討論に立った平良木議員は、「集団的自衛権そのものには賛否両論があるが、立憲主義に反して時の内閣が勝手に行使容認を決めることは、行使容認の賛否に関わらず権力の暴走であると指摘されている」と述べました。

しかし、反対派の議員は、「従来の政府見解を変えるものではない」「内閣の行政権を行使しただけ」などの難解な議論を連ねたほか、近隣諸国を「平和を愛する国とは思えない」など侮蔑とも言える発言を行いました。

## 請願に賛成した議員 (敬称略)

橋爪法一 上野公悦 平良木哲也 滝沢一成  
草間敏幸 小林和孝 柳沢周治 近藤彰治  
本城文夫 中川幹太 石平春彦

## 請願に反対した議員 (敬称略)

田中聡 波多野一夫 笹川栄一 塚田隆敏  
飯塚義隆 山崎一勇 鴨井光夫 瀬下半治  
大島洋一 渡邊隆 瀧澤逸男 江口修一  
武藤正信 宮崎政國 櫻庭節子 内山米六  
杉田勝典 上松和子 石田裕一 永島義雄

# 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 4 2 9 2014年10月5日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)

# 日本共産党議員団

# 独自に6万世帯への市民アンケート

(仮称)厚生産業会館建設問題



率直なご意見をお寄せください。

日本共産党議員団は、右下のような市民アンケートを各世帯に配布します。ぜひ、

「市民アンケートや住民投票など多様なやり方がある。私たちとしても、10月には6万世帯を対象にした市民アンケートを行って、民意を問う計画だ」と述べました。

(仮称)厚生産業会館の基本設計は、これまでの基本構想に比べ、建設費が10億円以上も増大しています。平良木議員は24日の一般質問でこの点を取り上げ、「多くの分野で市民サービスは『市は金がないから我慢しなくては』という思いがある。今回の増額は、市民には矛盾としか感じられない。その視点はないのか」「ワークショップでは、金額に上限を設けて、その範囲で使いやすいうようにする工夫をという議論になるべきだが、そうした議論になってきたのか」「大幅変更と市民負担増加は、トップマネージメントの問題があるという認識はないのか」と追及しました。そして、「なによりも、多くの市民に再度真摯に意見をきくべきではないか。その方法を検討する考えはないか」と問いかけました。

## 談合問題での「100条委員会設置」請願も不採択

最終日の本会議では、ガス水道局の談合疑惑について、「市議会として100条委員会を設置して真相解明を」という請願も、委員会審査に続いて不採択となりました。

賛成討論で平良木議員は、「発端から9ヶ月、公正取引委員会への通知からす

で7ヶ月が経過したが、真相は未だに不明であり、なんらの進展も市民の前に明らかになっていない」「この請願を採択し、法に基づいた百条委員会を設置して、疑惑解明を行うことが、議会の責務」と述べましたが、届きませんでした。

## 「緊急の過剰米処理を求める意見書」全会一致で採択

農民運動新潟県連合会から出された陳情に基づく、「政府による緊急の過剰米処理を求める意見書」は、全会一致で採択され、関係各方面に送付されることになりました。これは、全国的な米価の大暴落が懸念される中で、今でさえ生産費を大幅に下回っている米価がさらに暴落するならば、米作りそのものが根底から脅か

されるという、農業関係者の悲痛な叫びが、議会に届いたものです。

需給調節を行い価格の安定を図るのは政府の重要な役割ですが、政府は、今年の在庫が大幅に増えることを、昨年末には認識しながら何ら対策を講じてきませんでした。そこで、政府の責任で過剰米処理を行うよう求めるものです。

**(仮称)厚生産業会館 市民アンケートご協力をお願い**  
日本共産党上越市議員団

市長が公約に掲げて建設するとしている(仮称)厚生産業会館は、高田公園ゲール跡地で建設計画が進められ、このほど基本設計が明らかになりました。ところが、この基本設計は、当初の基本構想(18億3500万円)とは大きく異なり、建物や敷地の規模が拡大するとともに、建設費が10億6000万円も増え、28億9600万円となる計画です。

このことについては、高田地域協議会でも、「こんな巨額が湧いてしまっって、一呼吸しようと考えなかったのか」「基本構想からやり直してほしい」など、たくさんの方の指摘が寄せられています。しかし、市長は9月議会で、「ワークショップなどで市民の意見を聞いて、あらためて聞く考えはないか」という姿勢です。

市民の気持ちを生かした市政にするため、お一人でも多くの市民のみなさんのご意見をお寄せいただきたいと思っておりますので、アンケートのご返送をお願いいたします。

当初の基本構想	今回の基本設計	比較
延床面積	4720㎡	5250㎡ +530㎡
駐車場	4500㎡	6500㎡ +2000㎡
屋外広場等	2400㎡	6500㎡ +4100㎡
建設費	18億3500万円	28億9600万円 +10億6000万円

**基本設計 平面図**

※お寄せいただいたアンケートは、11月8日(土)13:30より、福祉交流プラザにて、みなさんに公開しながら検討し、検討いたします。

お願い  
アンケート用紙の印刷や送料などで、かなりの費用が見込まれます。お持ちの方は、郵金をお願ひいたします。郵金は、下記へお振り込みください。  
第四銀行 田川西支店  
普通預金 1388777  
日本共産党上越地区委員会

**(仮称)厚生産業会館 市民アンケート**  
ご自分のお考えに最も近いものに○をおつけください。

1	2	3	4
新提案の建設に賛成 (28億9600万円)	当初の規模程度にすべき (18億3500万円程度)	いったん白紙に戻す	わからない その他

ご意見があれば、ご自由にお書きください。

お願い  
\* このアンケート用紙は、封筒の封筒に入れ、切手を貼らずに、11月5日までに投函してください。